

BRING ACCESSIBILITY

ASTEM

THANK YOU

49

YEARS

アクセシビリティを
すべてのひとへ



Bring Accessibility

創業の理念をいまこそ。

私たちアステムは50周年という節目を迎えるにあたり、
新たな旅立ちを迎えることになりました。

父がこの会社を設立したのは、1974年。
舞台まわりの制作会社からのスタートでした。
私は同じ年に生まれ、グループ会社の株式会社エイ・コスモスで
衛星通信事業に携わってまいりました。

あらゆるコミュニケーションツールを通じて
夢と感動の場を提供し、社会に貢献する。
創業以来のアステムの企業理念です。

私たちは、お客さまの要望やビジョンを深く理解し、
実現のために全力で取り組み、
企画、映像展開、衛星通信、指定管理、字幕制作と
事業を広げてまいりました。

Bring Accessibility

私たちが掲げるキーワードです。

誰一人取り残すことなく、それぞれの仕事を通じて
課題解決のために取り組むこと。

それは国際社会共通の目標、SDGs(持続可能な開発目標)に
まっすぐにつながります。

すべてのひとに「Accessibility」を届けるために、
私は意欲に満ちた社員たちとともに全力を尽くしてまいります。

共に未来を創造しましょう！

代表取締役

大嶋 豊基

ASTEM × SDGs

いま、私たちにできること。

アステム。みんなで考えた会社名です。

A	Art
S	Satellite
T	Technology
E	Entertainment
M	Media

アステムでは、多くの女性、障害のあるひと、
高齢のひと、外国籍のひとが働いています。
この Diversity and Inclusion（多様性と包摂性）が
私たちの強みです。

もっと遠くへ、もっと多くのひとに
もっと確かに
届けること。伝えきること。

このユニバーサルデザインへの強い思いと
50年の間、磨き抜いた技術力で
いま、私たちの仕事が成り立っています。

Bring Accessibility.

SDGs へのみちすじは
未来社会への可能性に満ち満ちています。





Accessibility が未来を拓く

Accessibility は、アステムが最も大切にしている分野です。必要な情報をすべてのひとに的確に伝えるために、私たちの技術や経験が、障害のあるひとや高齢者、外国人などコミュニケーションに困難があるひとたちのQOLの向上にどうお役に立てるかを、考え抜いて試行錯誤してきました。

ハードとソフトを一社で完結できる強みを最大限に活かしてご提案いたします。

会議・シンポジウムなどの情報保障

視聴覚に障害のあるひとや高齢などで見えにくい、聞こえにくいひと、外国人などへの情報保障として、会議の内容を、字幕（日本語・英語など）・手話（日本手話・国際手話・ASL）・音声解説で伝えます。

テレビ字幕制作

年に1,200時間のクローズドキャプションを制作しています。丁寧に間違いがない字幕は、クオリティの高さでクライアントから厚い信頼をいただいています。



池田 香織 字幕ディレクター

字幕制作のスタッフは全員在宅勤務です。通勤のストレスがなく快適に仕事をしています。ネット上で進捗状況の管理を行う「働き方改革」を先取りした勤務形態はオペレーター定着の大きな要因になっていると思います。



Accessibility

河村 宏

特定非営利活動法人
支援技術開発機構 副理事長

アステム社とは20年以上のお付き合いですが、2017年度より、エクアドル共和国の地震被災地

域を中心にした、情報取得が難しい人たちの放送アクセス支援のJICA事業に参加させていただいています。

アステムの社員の皆さんは、とにかく真面目で多才です。現地で大臣と堂々と渡り合ったり、英語で研修ができたりと本当に力のある方が多いのですが、それでいて世間ずれしていないので、相手国側からも好印象をもたれています。そんなDNAをぜひ若い人たちにも伝えていってほしいと思います。

障害のあるひとの
接遇研修

障害当事者・支援者による障害のあるひとへの接遇研修を実施しています。会館・ホール・球場など、現場での実施研修も行っています。また、DVD『障がいのあるお客様との接し方～外食の場合を中心に～』（企画：大阪府福祉部障がい福祉室障がい福祉企画課）を製作、販売しています。

動画への手話・字幕・
音声解説の付与

視覚や聴覚に障害のあるひと、高齢などで見えにくい、聞こえにくいひと、外国人などへの情報保障として、映像の内容の音声解説、字幕（日本語・英語など）・手話（日本手話言語・国際手話）を付与して、動画の内容の理解を深めるお手伝いをいたします。



DVD『障がいのあるお客様との接し方～外食の場合を中心に～』

海外における情報支援

2017年度より、エクアドル共和国で、独立行政法人国際協力機構（JICA）の支援のもと「情報弱者のテレビ放送へのアクセスを保障する安心安全のための放送・通信インフラ普及・実証事業」を展開しています。



Accessibility の分野での共同の広がり

- 全国の障害者を対象に、地デジ移行説明会を実施
- ITU-T* SG16関連の会議参加
- IPTVアクセシビリティコンソーシアムとの連携
毎年、一般社団法人 情報通信技術委員会 (TTC) と共同でセミナーを開催



中谷 彰宏 ソリューション事業部 部長

年に数回、ジュネーブなどで開催されるITU-T*の会議に参加しています。私自身が開発に携わってきたIPTVにおける手話・字幕・音声解説の配信システムが国際標準規格 (H.702) となった時の感激は忘れられません。世界最先端の知見を得られる貴重な機会です。

*ITU-T...International Telecommunication Union Telecommunication Standardization Sector. 電気通信分野の国際標準化・勧告を担う国連の専門機関。



“Bring Accessibility”の 視点でイベントを トータルプロデュース

イベントの企画・コンセプト設計、プロモーション、舞台まわり・大型映像などの会場設営、出演者のコーディネート、受付・案内を含む当日の運営全般まで、すべて安心してお任せください。

ポスターなどの印刷物の制作や、写真・動画による記録も含め、「最小限の費用で最大の効果」をあげるべく誠心誠意で取り組みます。



周年事業

企業・自治体・団体・学校などの周年事業をトータルサポート。デザイン部門・映像部門との連携で、式典の企画・運営から、記念誌・記念映像の製作まで、「誰一人取り残さない」配慮を貫き、費用対効果の高いサービスを提供します。

学会運営

ウェブサイト、チラシでの告知から、受付、ポスターセッションの運営、講師の食事・宿泊の手配、開催地の特色を活かしたアトラクションの手配、日本語・英語字幕の手配・映出まで、多岐にわたる学会業務をサポート。オンライン学会の実績も豊富です。

齋藤 史織 ビジネスアーキテクト

幼少期より聴覚障害者協会を中心とした阿波おどりの団体に所属し、手話に親しんできました。そのため、聴覚障害のある方が携わるイベントや情報保障を担当させていただくことが多いのですが、弊社の映像技術や舞台技術を掛け合わせ、よりよい視覚的な工夫やコミュニケーション方法を考える過程を大切にしています。



Total Produce

八木 匡

同志社大学経済学部教授

これまでアステム社には、比較的規模の大きな学会で運営を委託しており、学会参加者の満足度の高さは、わかりやすい会場設営ときめ細かな配慮が徹底していたことによるものと考えています。アステム社の方で、綿密なプランニングが行われ、表示板の制作から設置まで行っていただいたことにより、学会実行委員会の業務量を大幅に削減でき、非常に高い質のサービスを、リーズナブルな委託料でお引き受けいただいているため、多くの学会の方々に推薦できる会社であると考えています。



“Bring Accessibility” の視点

障害のあるひとや高齢者、外国人など、イベントに参加するすべてのひとに楽しんでいただくためにできることを、私たちはいつも考えています。



「ひと」に思いをめぐらせる



「第36回 平和を考える戦争展」
大阪府富田林市

BRING ACCESSIBILITY



アートを身近なものに

アートは、ひとの気持ちを豊かにします。お気に入りから知らなかった世界まで、さまざまなアートを身近に感じるものに。



梅田 ただし

ソーシャルインベーション事業部 部長

一番心がけていることは、イベントを実施するにあたって、お客さまが最も大切にされていることを、形にしてお見せすることです。

自治体の場合は地域の特性を、企業の場合は商品を、学校の場合は教育内容の優位性を、映像や印刷媒体でいかに魅力的にお伝えするかということにいつも心を砕いています。



実績に裏打ちされた 映像コミュニケーションを 展開

アステムは1970年代から、企業や自治体などの日常的な広報に映像を活用することに力を注ぎ、1990年代初頭からは衛星中継業務を開始。今では光回線やモバイル機器を使っての中継などさまざまな方法で、ワンストップで対応しています。

コロナ禍以降急増したオンライン配信では、特に字幕・手話を付与しての配信に力を入れています。

オンライン配信

コロナ禍以降、イベントや講演会、学会、各種会議のオンライン配信が急増。移動や宿泊の費用が節約できるため、今後も大きな需要が見込まれます。アステムは、イベント事業で培った技術力を活かし、ストレスのない音響、限定的なライブ配信、自宅からのご講演、資料を映しながらの質疑応答、字幕・手話の付与など、行き届いたサポートでご好評をいただいています。



渡辺 佳宏 イベントコーディネーター・映像技術コーディネーター

イベント全般のサポート、調整を担当し、お客さまのご要望に沿うご提案を心がけています。衛星中継の運用では、緻密な確認作業の積み重ねで、絶対に失敗のない中継を常にめざしています。また、省庁の会議では、情報保障を担当し、会議当日に字幕と手話を付与した映像をアップするなど、「すべてのひとにわかりやすく伝えること」を強く意識しています。



Movies × Communication



各種中継

通信衛星を用いた大規模な中継から、インターネットや専用回線などの地上線を利用した中継、光回線のない屋外からのモバイル中継まで、会場の環境や予算に合わせて最適な方法をご提案いたします。

会議・シンポジウム などでの映像の活用

単にイベントの内容を会場内に投影するのではなく、登壇者への小画面での投影、字幕や手話の投影、定員を超えた場合の他室への中継など、主催者さまにご満足いただける、イベントに参加するひと全員に内容が伝わる映像の活用を心がけています。

動画制作

イベント内で投影するコンテンツ制作からプロモーション動画の制作まで、ご要望に合わせてシナリオ・絵コンテを作成し、CGや3DCGアニメーションも用いて、クオリティの高い動画をご提供いたします。



10月21日の震度6弱を観測した
鳥取県中部地震で

既存映像作品への情報保障

お手持ちの映像作品に、字幕・手話・音声解説の付与を行います。超高齢社会である日本では、見えない・聞こえないひと、見えにくい・聞こえにくいひとだけでなく、ご高齢の方にも情報を正確に伝えることは大きなニーズです。日本語が少しわかる外国人にも喜ばれます。また、多言語字幕（英語・中国語・韓国語・スペイン語）の付与も承っています。

小林 誠 ビデオエンジニア

企業さまなどの映像配信システムや聴覚障害があるひとの手話コミュニケーションの展開を担当してきました。どちらも、「情報を、より多くの方に、正確にお届けする」仕事です。日常的に関連分野の情報をチェックし、より正確な情報をお届けすることができるように、日々の研鑽の大切さを痛感しています。





震災を機に誕生した 「目で聴くテレビ」

「目で聴くテレビ」は、聴覚障害者のための放送局です。阪神淡路大震災をきっかけに、聴覚障害当事者団体と株式会社アステムが立ち上げ、その手話・字幕配信システムは、アクセシビリティの分野では唯一、国際標準規格（H.702）と国内標準規格（JT-H702）の両方で認証。

聴覚障害者自身が番組を制作、災害時の情報保障を何よりも大切に、手話と字幕でさまざまな情報を20年以上発信しています。



利用者の声

以前の「アイ・ドラゴン」は放送時間が少なかったけれど、「アイ・ドラゴン4」になって番組がいつでも見れるようになり、嬉しいです！

石川県 Aさん 50代

アーカイブが1,000本以上あるのはスゴイ!!「防災番組」を手話で学習できるのがすごくいい！

大阪府 Bさん 70代

災害時のニュースに手話があるのは安心できます。※すべての災害放送にライブ(リアルタイム)手話放送があるとは限りません。

千葉県 Cさん 30代

人気のアーカイブ手話番組

- Let's Sign! 国際手話
- 覚えよう! 新しい手話
- 月曜男の手話漫談
- 全国ろうあ者大会
- JFD (全日本ろうあ連盟) レーダー
- 全国手話通訳問題研究集会
- 厚生労働大臣記者会見 [手話翻訳]
- 文部科学大臣記者会見 [手話翻訳]
- 緊急災害時における聴覚障害者の情報保障活動イベント in 和歌山
- 知っておこう! ぼうさいのこころえ
- くまモン特別講座! くまでもわかる! 「地震への備え」(内閣府防災) ご提供
- 新・物語のとびら
- 重田千輝のモンゴル紀行

調査・研究事業

- ・視聴覚障害者等向け放送に関する調査研究 総務省、2017年度
- ・テレビジョン放送における手話通訳育成に関する調査研究 総務省、2018年度・2019年度・2020年度
- ・聴覚障害者におけるIPTV情報アクセシビリティの標準化の動向に関する調査 一般社団法人情報通信技術委員会、2019年度

For the Deaf & Hard of Hearing

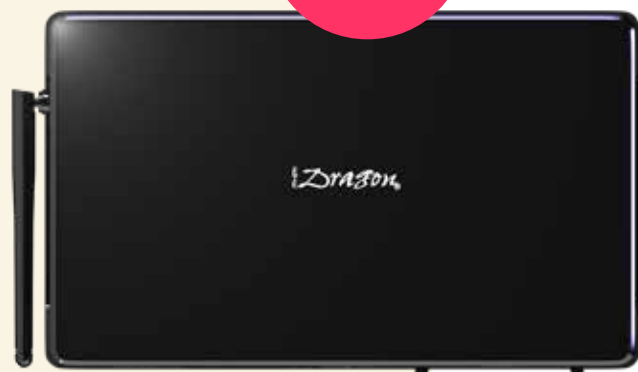
ご利用には
インターネット
回線が必要です

「目で聴くテレビ」を見るには 「アイ・ドラゴン4」が必要です

「アイ・ドラゴン4」は、身体障害者日常生活用具として、市区町村から給付を受けることができます。

「アイ・ドラゴン4」の4つの機能

- ① 24時間、約1,000本の手話番組アーカイブが見放題
- ② IPTV「目で聴くテレビ」が見放題（毎週火曜日21時更新）
- ③ 緊急災害時のライブ（リアルタイム）手話・字幕
※「光る警報機」が緊急放送の開始をお知らせします。
- ④ ライブ（リアルタイム）手話・字幕放送（定例・ピカイチ）
※障害者放送通信機構がサービスを行っている番組に限ります。



アイ・ドラゴン4



IPTV「目で聴くテレビ」



「ぼうさいのこころえ」

BRING ACCESSIBILITY

IPTV 目で聴くテレビ

毎週火曜日 21 時更新
受信料（年間）
個人：6,000 円（税抜）
施設・団体：10,000 円（税抜）

地上波 TVK（テレビ神奈川）

毎週月曜日 9 時～9 時 30 分

KBS（京都放送）

毎週土曜日 8 時～8 時 30 分
毎週火曜日 8 時～8 時 30 分（再放送）

CATV 行田ケーブルテレビ（埼玉県）

伊賀上野ケーブルテレビ（三重県）

受賞歴

- ★ 令和2年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰 内閣総理大臣表彰受賞 2020年
- ★ ITU（国際電気通信連合）・IPC（国際パラリンピック委員会）のアプリケーション・チャレンジ公的部門で最優秀賞受賞 2016年
- ★ 日本ITU協会賞 ユニバーサルアクセシビリティ賞 2001年

西田 浩文 ソリューション事業部 次長

災害が頻発する今日、防災学習の大切さを痛感しています。「アイ・ドラゴン4」を公的施設に設置して、地域の小・中学生や自治会、婦人会、老人会、そして何よりも障害当事者団体の皆さんに、アーカイブにたくさん搭載している防災啓発動画を見て、イザというときの心構えをしていただくことが、自分や家族、周囲のひとたちの命を守ることに繋がると考えています。



「アイ・ドラゴン」シリーズは、これまで全国で約 20,000 台を普及し、個人ユーザーの他、全国各市区町村の公共施設や福祉避難所などに設置されています。

聞こえる人向けの「シードラゴン」も発売を開始しました（リアルタイム放送受信の機能はありません）。



「地域の個性」を 際立たせる アステムの指定管理

指定管理者制度発足直後からスタートしたアステムの指定管理。1974年の創業時より培ってきた「事業企画力」「舞台技術力」「ホスピタリティ」に優れた社員を配し、利用者のニーズを引き出し実現する施設サービスを提供しています。

「アステムだからできる」、地域に寄り添った質の高い管理運営で、“行政の良きパートナー”として歩み続けています。

大東市立総合文化センター

文化ホール<サーティホール>・公民館

〒574-0037 大阪府大東市新町 13-30

TEL: 072-873-0030 FAX: 072-873-0119



関西フィルハーモニー管弦楽団と大東市内中学校吹奏楽部とのコラボも実現



親子で楽しめる全館体感型イベント
「ハロウィンおたのしみデイ」



福井 八栄子

寝屋川市立地域交流センター アルカスホール 副館長

技術管理、ホールマネージャーなどさまざまな立場でホール運営に携わってきました。ご利用者さまとの対話を大切に、望まれていることを共に実現できるよう努め、皆さまの文化活動のお手伝いできればと思います。



For the Communities

出相 泰裕

大阪教育大学教育学部教育協働学科
教育心理学講座教授
社会教育主事講習主任教員

指定管理者制度についてはさまざまな意見がありますが、アステム様の実践に触れ、意見が変わった方もおられます。

容易なことではないでしょうが、今後も人の幸せのため、地域の活性化のため、教育事業・学習支援を通じて、貢献していただけたらと思います。

寝屋川市立地域交流センター

アルカスホール

〒572-0837 大阪府寝屋川市早子町 12-21

TEL:072-821-1240 FAX: 072-821-1241



「ピアノでねやがわ散歩」

左：ホールの特性を活かし、文化芸術の若き担い手を育てる「アルカスジュニアピアノコンクール」

大東市立 歴史とスポーツふれあいセンター

歴史民俗資料館・グラウンド・体育館・多目的室

〒574-0015 大阪府大東市野崎 3-6-1

TEL: 072-876-7011 FAX: 072-876-7702



右：資料館主催で毎年開催している子ども対象イベント「れきみんカーニバル」

大東市立生涯学習センター アクロス

〒574-0036 大阪府大東市末広町 1-301

TEL: 072-869-6505 FAX: 072-870-1405



右：市民の「やりたい！」を叶えるイベント「ハンドフェス&癒しフェア DAITO」



澁谷 成彦

大東市立生涯学習センター アクロス 職員

大東市生まれの大東市育ち。大阪産業大学でまちづくりを学び、市内のNPOに所属、企業や大学と連携・協働しながら、市内外のまちづくりに貢献してきました。アクロス初仕事は「だいたう地域塾・だいたう図鑑をつくろう」。地元への思いが仕事として結実していくことにやりがいを感じています。



未来をつくる力。

SDGs 全体の理念「誰一人取り残さない」という考え方は、
ビジネス分野における Diversity and Inclusion（多様性と包摂性）の思想とまさに同じ。
アステムは多様な人材がお互いに認め合い、受け入れあう機会と風土を育んできました。
「未来をつくる力」がアステムにはあります。



Diversity and Inclusion

87人中

42人

女性の従業員数

アステムって、女性が多い会社？ とよく聞かれますが、男女の比率はほぼ半々です。新卒で入社して子どもを社会人まで育て上げたひと、ご両親の介護をしながら在宅で勤務しているひと、それぞれの事情はさまざまですが、女性が働きやすい会社は男性も働きやすい会社だと、私たちは考えています。

44%

管理職における女性の比率

アステムに「ガラスの天井」はありません。子育て中でも、病気を抱えていても、できる範囲で管理職を務めている女性が多くいます。「働き方改革」の徹底で、残業ゼロをめざし、より多くの女性が管理職として活躍してほしいと願っています。

3人

障害のあるひと

障害者雇用率は、**6.63%**。国が定める民間企業の法定雇用率2.2%のちょうど3倍です。3人はすべて身体障害者手帳を持つ聴覚障害者ですが、その他、国の指定難病に罹患しているひとが6人、無理のない範囲で仕事を続けています。

3人

外国人

留学先の早稲田大学のインターンシップでアステムが指定管理者として運営している施設に派遣され、一旦は帰国しながらどうしてもここで働きたいという思いを貫いた米国人女性。念願のカメラマンとして働くバングラデシュ人男性。DTPオペレーターをめざすベトナム人男性。3人とも私たちの素晴らしい仲間です。



この手話は「つながり」という意味です

日本経済新聞

「中堅・中小企業劇場 魂の声 ～ 2030 年に残したい企業～」

全国 138 社 (2020 年 9 月 24 日掲載)、

「社員の結束が感じられる企業 6 選」 (2020 年 12 月 1 日掲載)

に選ばれました!



YouTube で動画 (3 分) を
ご覧いただけます



■大阪 〒530-0044

大阪市北区東天満 2-7-12 スターポート

TEL 06(6242)6681 FAX 06(6242)6631

■東京 〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-28-8 ニュー千駄ヶ谷502

TEL 03(6804)1433 FAX 03(6804)1434



www.astem-co.co.jp